

しまね 金融広報だより

発行：島根県金融広報委員会事務局

〒690-8553 松江市母衣町55-3（日本銀行松江支店内）

TEL 0852-32-1509 FAX 0852-32-2042

<http://www3.boj.or.jp/matsue/kinkoui/kinkoui.html>

島根県金融広報委員会は、「正しい知識を正しく伝える」を平成22年度の活動テーマに掲げ、「金融知識の普及」と「金銭・金融教育の支援」を車の両輪として活動を行いました。1年間の主な取り組みを紹介します。

☆金融知識の普及活動☆

1. 「くらしとおかね講演会」を開催しました

今年度の「くらしとおかね講演会」には、ベストセラー「女性の品格」の著者で、昭和女子大学学長の坂東眞理子氏をお迎えして「品格ある生き方のための家庭経済学」と題し、ご講演頂きました（11月20日、松江テルサ）。

講演では、まず、子どもたちが自立して社会を生きていくために、「家庭において基本的な



生活習慣やコミュニケーション能力を身に付けること」や、「社会に溢れる情報に振り回されることのない強い意志を持つこと」、「自ら生活出来るだけの経済力を身に付けること」が大切としたうえで、「お金を貯めるだけでなく、身近な人のため、あるいは社会のために、お金を上手に使うことが品格ある生き方に繋がること」を分かりやすくお話頂きました。

400名の参加者は、坂東学長のソフトな語り口に頷きながら、真剣な表情で聞き入っていました。

2. 「夏休み体験教室～おかねイロイロ探検隊！～」を開催しました

小学校4～6年生の児童とその保護者を対象に、日本銀行松江支店において、「夏休み体験教室～おかねイロイロ探検隊！～」を開催しました。

この体験教室は、お金の役割や大切さなどについて楽しく学ぶことが出来るため、毎回ご好評を頂いています。今回も応募者多数のため、抽選の結果、71組148名の方々にご参加頂きました。

プログラム

- ビデオ上映「知るほどなるほど！日本銀行」
- お札の鑑定・偽造防止技術の確認
- 日本銀行松江支店ロビー・展示ルームの見学
- クイズ
- 紙芝居「わたしの大きな千円さつ」
- ゲーム「おこづかい帳をつけてみよう」



参加者は、お札を透かしたり傾けたり、ルーペを使ったりして、偽造防止技術を確認したほか、ゲームをしながら、楽しくおこづかい帳のつけ方を学びました。

展示コーナーでは、銀行券1億円の重さを同じ分量の紙で体験したり、使えなくなったお札3億5千万円の裁断屑で作ったイスに座って記念写真を撮ったりと、楽しんで頂くことが出来ました。

参加した児童からは「お金の大切さやありがたさが分かった」、「おこづかい帳のつけ方が分かったので、これからは無駄遣いしないようにしたい」、保護者からは「お金について改めて考えることが出来た」、「子どもの頃からお金について考えるのはとても良いことだと思う」といった声が聞かれました。



☆金銭・金融教育の支援活動☆

1. 金銭・金融教育研究校での活動を紹介します

○益田市立中西小学校（平成22・23年度 金銭教育研究校）

総合的な学習の時間において、児童が地域のボランティアの方とともに育てたお米を米粉にしてお菓子を作り、文化祭で販売しました。

その過程において、消費者の視点に立ったポスターやチラシを作成したり、価格設定や販売方法を工夫するなど、金銭教育の視点を取り入れました。

○奥出雲町立仁多中学校（平成21・22年度 金融教育研究校）

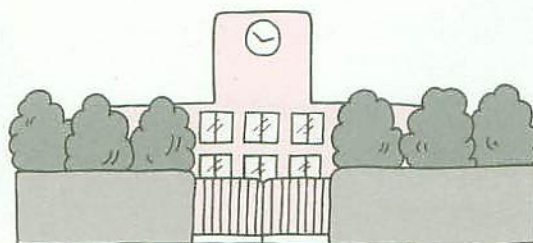
社会科（公民）の授業において、経済活動を身近なものとしてとらえるために、自ら「ハンバーガーショップの経営者」になって、出店先を考える授業を公開しました。

生徒はグループ毎に分かれて、集客力や流通などを踏まえて、プラス・マイナス面を広い視野で考え、「駅前の人通りがある場所がいい」「郊外で駐車場が広いところで」など、様々な意見を発表しました。

○島根県立情報科学高等学校（平成21・22年度 金融教育研究校）

課題研究の時間において、日本銀行松江支店を見学しました。

実際に職員が働いているところをロビーから見学したり、日頃何気なく使っているお札の偽造防止技術について説明を受けました。また、「景気」や「金利」に関する話を聞き、経済についての関心を持つきっかけとなりました。



2. 島根県金銭・金融教育協議会を開催しました

2月1日(火)にホテル白鳥(松江市)において、県内各地から小・中・高等学校の教員や教育関係者にお集まり頂き、「島根県金銭・金融教育協議会」を開催しました。

本協議会は、金銭・金融教育に対する理解を深めて頂き、金銭・金融教育推進上の問題点について協議することを目的として、毎年度開催しています。

当日は、金銭・金融教育研究校を委嘱している3校が、日頃から工夫を凝らし、熱心に取り組んでいる研究・実践の内容について発表しました。

また、国土舘大学教授の北俊夫氏による「学校における金銭・金融教育の考え方・進め方」をテーマとした講演会を行いました。

講演内容の一部を紹介します。



- 金銭教育は、モノやお金を大切にすることを通して、健全な金銭感覚を養うこと、金融教育は、「お金」や「金融」についての基礎的知識を習得させることが目標です。金銭・金融教育は、消費者教育、キャリア教育、経済教育、法教育、エネルギー・環境教育など様々な教育課題と関連しています。
- 金銭教育では、①鉛筆を最後まで使い切るなどモノを大切にする姿勢を教師が見せることや、②モノの大切さを子どもたちの心情に訴える道徳教育を重視すること、③モノの生産やそこで働いている人への理解を深めることが大切です。
- 金融教育で重視したいことは、次のとおりです。
 - ① 夢や目標を実現するためには「お金」が必要であり、その「お金」を手に入れるためには勤労が必要であることや、「働くことの意味」を理解させること。
 - ② 見えないお金(カード決済等)の実態とともに、利便性と落とし穴に気付かせること。
 - ③ 社会の中でのお金の役割や金融機関の役割、お金と国家・社会の発展との関連を考えさせること。
- 金銭・金融教育は、「どこでも」「いつでも」「みんなで」取り組む教育です。金銭・金融教育の視点を明確にすることによって、様々な教科で実践することが出来ます。また、発達段階に応じて、幼稚園から高等学校まで、さらには生涯の学習として、いつでも取り組むことが大切です。全教職員のほか、保護者や地域住民などみんなで取り組むことが大切です。
- 学校における金銭・金融教育を進める際には、金融広報中央委員会が発行している「金融教育プログラム」や「金融教育ガイドブック」、「はじめての金融教育」を参考にしてください。



☆今年度の主な講師派遣実績☆

* は一般向け

開催日	演 題 等	講師<敬称略>	開催場所
22.6.8	最近の金融経済情勢について*	日本銀行松江支店長	出雲科学館
22.6.14	世界一おもしろいお金の授業 必要なモノと欲しいモノ?	いちのせかつみ (生活経済ジャーナリスト)	奥出雲町立 仁多中学校
22.6.22	金融取引の基礎知識等*	財務省中国財務局 松江財務事務所長	出雲科学館
22.7.6	シニア世代のライフプラン*	金融広報アドバイザー	出雲科学館
22.7.21	おこづかいゲーム	金融広報アドバイザー	出雲郷公民館
22.7.23	基礎から知りたい年金入門講座*	金融広報アドバイザー	日原山村 開発センター
22.8.10	子供たちをお金のトラブルから守るために ～現代社会における家計管理と消費者トラブル～	中川 壮一 (勤消費者教育支援センター主任研究員)	島根県教育センター 浜田教育センター
22.8.27	老後の財産管理と金融トラブル* ～少しは知っておきたいお金の知識～	金融広報アドバイザー	松江市市民活動 支援センター
22.9.14	遺族年金を理解しよう*	金融広報アドバイザー	出雲科学館
23.1.25	カード社会の歩き方 ほか	金融広報アドバイザー	島根県立 安来高等学校
23.1.29	自分と地球にやさしいお金の使い方	あんびるえつこ (生活経済ジャーナリスト)	益田市立 中西小学校
23.2.6	私達の身近な税金について ほか*	金融広報アドバイザー	日原山村 開発センター

☆資料提供・講師派遣を行っています<無料>☆

- 暮らしに身近な金融情報に関する冊子や金銭・金融教育に役立つ資料を提供しています。学校やご家庭で、ぜひご活用ください。
- 学校、PTA、公民館、婦人会などの団体・グループを対象に、暮らしに身近な「お金」にかかわる講座や学習会へ、金融広報アドバイザーなどの講師を派遣します。

お気軽に当委員会事務局（電話 0852-32-1509）までご連絡ください。

